

平成 28 年度 第 2 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

- 1 会議名 平成 28 年度 第 2 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会
- 2 日 時 平成 29 年 3 月 15 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時 15 分まで
- 3 場 所 長野県安曇野庁舎 4 階 講堂
- 4 出席者 宮澤 宗弘会長 (安曇野市長)、奥山 修司委員、坂本 賢一郎委員、
伊藤 和之委員 (神林 純也氏代理出席)、長澤 徹委員、瀧澤 壮芳委員、
中山 栄樹委員、増田 早苗委員、中村 豊江委員、藤岡 嘉委員、真峯 嗣委員、
高橋 千治委員、齊藤 正昭委員 (輿 智幸氏代理出席)、太田 謙委員、
望月 熙史委員、宮崎 崇徳委員、曲渕 憲介委員、小林 忠由委員、
小岩井 清志委員、耳塚 喜門委員、岡山 徳夫委員、中村 博委員、
大内 清彦委員、山岸 巖委員、西郷 靖純委員、藤松 兼次委員、小林 弘委員、
花村 潔委員、曾根原 悦二委員、横山 正委員
事務局：関政策経営課長、北條企画担当係長、企画担当主査丸田
担当課：福祉部 (長寿社会課 瀨長寿福祉係長)
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記 者 2 人
- 7 傍聴者 0 人
- 8 会議録作成年月日 平成 29 年 3 月 27 日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ (宮澤会長)
- 3 協 議 事 項
 - (1) 平成 29 年度安曇野市地域公共交通会議兼協議会事業計画 (案) について
 - (2) 平成 29 年度安曇野市地域公共交通協議会予算 (案) について
 - (3) 平成 29 年度 各路線運行計画 (案) について
定時定路線
あづみ野周遊バス
信州まつもと空港シャトル便
上田線
中房線
福祉バス
 - (4) 平成 29 年度安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について
 - (5) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について
- 4 報 告 事 項
 - (1) あづみん運行体系の見直しに係る検討内容の中間報告について
 - (2) 地域公共交通網形成計画の策定について
 - (3) 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について
- 5 そ の 他
 - (1) 平成 29 年度委員の選任について
- 6 閉 会

□ 議事録署名人 宮崎 崇徳委員、中村 博委員

◎協議事項

(1) 平成 29 年度安曇野市地域公共交通会議兼協議会事業計画 (案) について

【事務局説明】・・・資料 1 (1P)

例年の事業に加えて、平成 28 年度に引き続き地域公共交通網形成計画の策定及び運行体系見直しの検討を行いたい。

《拍手により承認》

(2) 平成 29 年度安曇野市地域公共交通協議会予算 (案) について

【事務局説明】・・・資料 2 (2P)

前年度比増額の要因は、主に国からの補助金の減額に伴う市負担金の増額 (運行費) 及びシステム改修に伴うシステム保守料 (運行管理費) の増額である。

《拍手により承認》

(3) 平成 29 年度 各路線運行計画 (案) について

○ 定時定路線

【事務局説明】・・・資料 3 (3P)

豊科駅・田沢駅路線の定時定路線専用駐車場バス停を設置している土地を市が返却することに伴い、バス停及び一部路線を廃止したい。

《拍手により承認》

○ あづみ野周遊バス

【耳塚委員 説明】・・・資料 4 (23P)

平成 28 年度は穂高神社の御遷宮があり 121 日運行していたが、平成 29 年度は 104 日の運行を計画している。

東回り 大王わさび農場線について、平成 28 年度は 1 日 8 便で明科の潮新明宮、第二白坂トンネルまで運行していたが利用者がほとんどいなかったため、平成 29 年度は 7 便の運行とし潮新明宮、第二白坂トンネルまでは行かないこととしたい。

西回りは、運行実績を元に時間を変更している。

《拍手により承認》

○ 信州まつもと空港シャトル便

【小岩井委員】・・・資料 5 (27P)

平成 25 年度に運行を開始し、毎年利用者が増えている。今年度も、2 月末までの実績の資料を付けているが増加となる見通しである。

運行計画について大幅な見直しは無く、通年の運行を行うとともに、8 月は大阪便の就航に合わせて運行したい。

《拍手により承認》

○ 上田便

【耳塚委員 説明】・・・資料6 (37P)

運行計画は今年度と同様であるが、運行実績資料のとおり利用者が少ない状況である。

《拍手により承認》

○ 中房線

【耳塚委員 説明】・・・資料7 (44P)

繁忙期・閑散期で3パターンのダイヤを設定している。平成28年度の実績は、2社合計で約18,000人にご利用いただいた。

《拍手により承認》

○ 福祉バス

【長寿社会課 説明】・・・資料8 (46P)

市内3地域のみ運行しており、老人保健センター行きについては施設の廃止に伴い、平成29年9月30日をもって運行を終了する予定としている。運行実績を見ると、昨年よりも利用者は減っている。

《拍手により承認》

(4) 平成29年度安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について

【会長 説明】・・・資料9 (48P)

現在の監事は資料のとおりである。特にご意見がなければ、事務局案を提示したうえでご審議いただくことでよいか。

《異議なし》

【事務局 説明】

事務局案としては、今年度の監事に引き続きお願いしたいがいかがか。

《拍手により承認》

(5) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について

【事務局説明】・・・資料10 (49P)

地域公共交通網形成計画の策定に向け、鉄道も重要な公共交通機関であるため、東日本旅客鉄道株式会社に協議会に参画いただきたいと考えている。このため、長野支社総務部企画室長を委員として追加するため規約を改正したい。

なお、地域公共交通会議は市の要綱での設置であるため、本議案の承認後、内部手続きにて要綱を改正したい。

《拍手により承認》

4 報告事項

(1) あづみん運行体系の見直しに係る検討内容の中間報告について

【事務局説明】・・・資料11 (57P)

運行開始から9年半が経過するなか、平成28年度から見直しに着手した。具体的な取

り組みについては、まだ方向性が出ていないが4回の部会で資料11のとおり課題を抽出した。引き続き検討を重ね、具体的な見直し案を提示したい。

《質疑応答》

○見直しについては、ある程度短い期間で結論を出していただきたい。

→早急に取り組める部分については早めに取り組みたい。一方で、市の財政も厳しいためサービスの向上と料金見直しを併せて考えざるを得ないのでご理解いただきたい。

(2) 地域公共交通網形成計画の策定について

【事務局説明】・・・資料12 (59P)

計画の目的及びスケジュールについて説明。またあづみんの運行に活用している国庫補助の減額に対して、計画策定による減少幅の抑制という側面もある。

今年度は、市民アンケートを実施したところだが、今後公共交通の利用状況分析を行い計画に反映したい。また、本計画の策定については、長野県の地域交通ベストミックス構築事業補助金を活用させていただいている。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

【事務局説明】・・・資料13 (79P)

国庫補助を受けるにあたり、実施した事業の評価が必要である。市地域公共交通総合連携計画の目標値を年間の利用目標としており、達成できてはいないが多くの利用者にご利用いただいている。事業年度が10月から9月となるためご注意ください。

5 その他

(1) 平成29年度委員の選任について

【事務局説明】・・・資料14 (83P)

平成29年度も、引き続き委員をお引き受けいただきたい。

○ 高齢運転者の事故防止対策に関する国の動きについて（北陸信越運輸局 長野運輸支局）

政府一丸となって高齢者交通事故防止対策を行うため、平成28年11月の関係閣僚会議において首相から次の3点の指示が出ている。

- ① 道路交通法の円滑な施行（平成29年3月12日施行：高齢者の免許更新の厳格化）
- ② 社会全体で高齢者の生活を支える体制の整備
- ③ 高齢運転者の事故に対する更なる体制の強化

今回の道路交通法の改正点は、次のとおりである。75歳以上は違反等がなくても免許更新時に全員が認知症の機能検査を受けることが必要となる。（現在は、一定の違反等がある方のみ検査を受けることとなっている。）また、認知症の恐れがあると判断された方は医師の診断を受ける必要がある。

今後、高齢者の移動手段の確保がより一層必要となるため、そのような社会に対応できる持続可能な公共交通網の整備をお願いしたい。